

ティーネのいいね！ドイツ

沼田市国際交流員が教えるドイツ



ドイツでは、クリスマスは最も大切なキリスト教の祭日です。数ヶ月前から様々なお店でクリスマスのお菓子、クッキー、シュトレン（お菓子パン）、レープクーヘン（スパイスが入っているクッキーの一種）の販売が始まります。日本では10月末までハロウィン時期ですが、ドイツ人の方は早くからクリスマス・イブを楽しみにしています。



ドイツのクリスマスの過ごし方



ドイツではクリスマス・イブの約1ヶ月前からクリスマス時期が始まります。その4週間を待降節・アドベントと言います。ドイツの家ではクリスマスの飾りつけをしますが、その中の一つはモミの木の枝で作ったアドベントクランツ(リース)です。4本のろうそくが立てられるリースに、一週間おきに一本ずつ火を灯していくという習慣があります。

もう一つの人気な物はクリスマス・イブまでの日数を数えるためのアドベント・カレンダーです。カレンダーの日付の所に窓が24個あって、クリスマスまで毎日一つずつ開けます。アドベント・カレンダーは様々な形がありますが、店で買ったカレンダーの中にはよくチョコレートが入っていますが、手作りのカレンダーもあります。

12月24日、家族がクリスマス・ツリーを立てて飾ります。教会でクリスマスのミサが行われて、夜になると家族が家でクリスマスをお祝いします。サンタクロースではなく、クリストキント(クリスマスの天使)がプレゼントをクリスマス・ツリーの下に置きます。プレゼントはクリスマス・イブに開けますが、クリスマスがまだまだ続きます。

12月25日と26日もクリスマスで、会社とほとんどの店がまだ休んでいます。その2日間の中に祖父母か他の家族の家に行ってお馳走を食べたりする人が多いです。ドイツのクリスマスは家族と過ごす静かな瞑想的な祝日です。日本でのクリスマスより日本の年越しに似ているはずです。

Frohe Weihnachten!
(メリークリスマス)



作者：クリスティーネ・バウアー（ティーネ）
問い合わせ：c.bauer@city.numata.gunma.jp